

第61期 中間報告

2013年4月1日 ▶ 2013年9月30日



TDCソフトは、豊富な業務ノウハウと最先端の技術で様々な分野の企業活動をサポート。
ICTプロフェッショナルとして経営革新・業務革新による収益力向上や、新規事業の可能性向上等、
お客様の企業価値を高めることを目指してサービスを提供しています。

TDCSOFT

企業理念

わが社は、
最新の情報技術を提供し
お客様の繁栄に寄与するとともに
社員の生きがいを大切にし
社会と共に発展することを目指します。

TDCSOFT

行動指針

私たちの価値 Our Value



お客様の視点で発想し、**創造性** (Creativity) を発揮します。
高い目標にむかって、果敢に**挑戦** (Challenge) します。
オープンに**語り合い** (Communication)、夢と感動を共有します。
技術力の向上を図り、**自己実現** (Capability) を目指します。
法令を遵守 (Compliance) し、誠実かつ公正に行動します。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに「TDCSOFT Report 第61期中間報告」をお届けいたします。

TDCソフトは、2013年4月よりスタートした3ヵ年の中期経営計画のもと、「お客様から最も信頼されるパートナー企業」を目指し、成長してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月



代表取締役会長
橋本 文雄

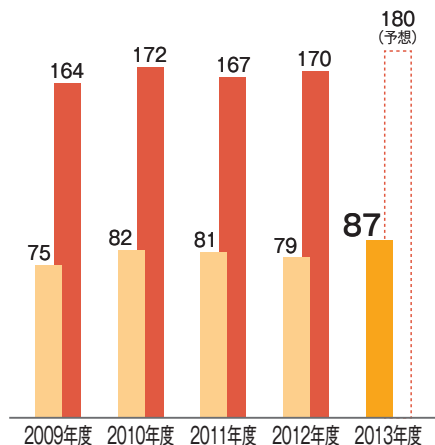
代表取締役社長
谷上 俊二

業績ハイライト

売上高

(単位:億円)

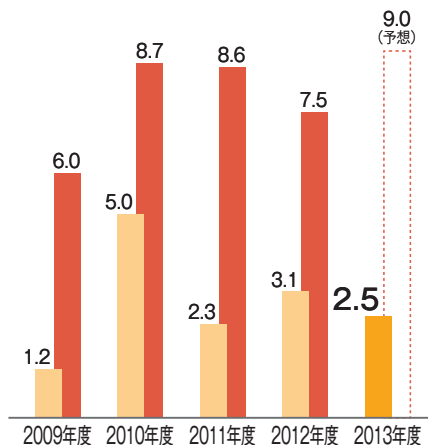
■ 通期 ■ 第2四半期



経常利益

(単位:億円)

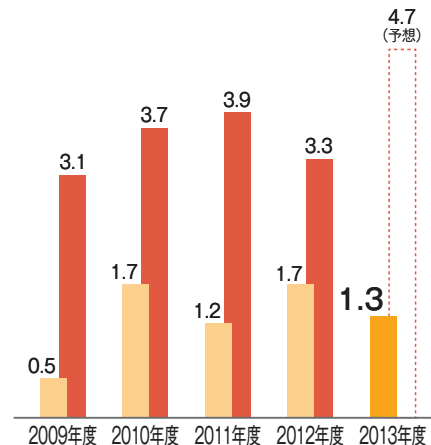
■ 通期 ■ 第2四半期



四半期(当期)純利益

(単位:億円)

■ 通期 ■ 第2四半期

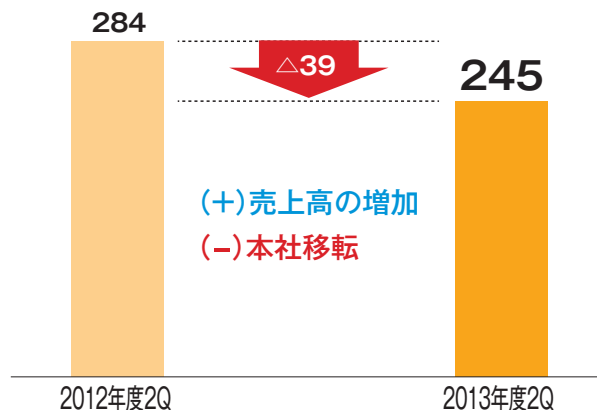


当社は、2013年4月から2016年3月における中期経営計画『For the NEXT STAGE』のもと、「お客様から最も信頼されるパートナー企業」を目指し、お客様の繁栄への寄与に努めております。また、お客様の経営課題と一緒に取り組むパートナー型ビジネス及びサービス提供型のソリューション型ビジネスの提案力強化を重点施策として取り組んでおります。

当第2四半期累計期間（2013年4月1日から2013年9月30日まで）の業績は、金融分野におけるシステム開発案件が拡大したことなどにより、売上高は 8,771百万円（前年同期比 10.3%増）となりました。利益面では、売上高の増加により売上総利益が前年同期に比べ増加いたしました。2013年6月に実施した本社移転に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は 245百万円（前年同期比 13.9%減）、経常利益は 250百万円（前年同期比 20.3%減）、四半期純利益は 139百万円（前年同期比 21.9%減）となりました。

営業利益分析（前年同期比）

(単位:百万円)



業種分野別概況

金融分野
5,674百万円
(64.7%)

法人分野
2,264百万円
(25.8%)

業種分野別売上高
(2013年度第2四半期累計)

8,771百万円

公共・公益分野
833百万円
(9.5%)

()内は売上高構成比



金融分野

(保険・クレジット・銀行)

● クレジット関連向け、銀行関連向けシステム開発案件が増加

⇒売上高は前年同期を19.8%上回り、
5,674百万円となりました



法人分野

(通信・運輸・製造)

● 電気機器等の製造関連向け、通信関連向けシステム開発案件が減少

⇒売上高は前年同期を2.9%下回り、
2,264百万円となりました



公共・公益分野

(官公庁・エネルギー)

● 団体関連向けシステム開発案件が減少

⇒売上高は前年同期を6.0%下回り、
833百万円となりました

2013年度の取り組み

パートナー型ビジネスの強化

顧客の経営課題と一緒に取り組み、お客様との信頼関係構築に努め、顧客ニーズを捉えた**適時的確な提案**を実施

➡ **主要顧客を中心として受注拡大**

ソリューション型ビジネスの強化

市場や顧客ニーズに即応したソリューション型ビジネスを強化するため設置したイノベーションビジネス本部を中心に、クラウドサービス**Trustpro**をはじめとしたソリューションを活用して既存ビジネスの拡大に注力

➡ **全社クロスセルにより既取引顧客へソリューションを展開し、受注拡大**

グループ連携ビジネスの強化

子会社**TDCネクスト**、中国現地法人**天津TDC**との連携を強化し、グループ全体でのシナジー効果を発揮

➡ **強みを伸ばして独自事業の強化を推進**



人員の増強

事業拡大に向けて積極的に採用活動を実施、特に**即戦力の採用**を強化

➡ **経験者の採用者数増加、50名を目指して活動継続**
ここ数年抑制していた新卒者の採用者数も拡大

Trustproビジネスの推進

新たな事業収益モデルの確立、
企業競争力の強化を目指し、
Trustproビジネスを推進しています。

- 多数のテンプレートによる短期間での導入や、
カスタマイズが容易な点が評価され、
導入ライセンス数が増加
- 販路拡大を目指し、**TDCクラウドサービス
パートナープログラムを導入**
- 社内基幹システムに**Trustproを採用**

Trustpro



ITpro
EXPO 2013

2013年10月に東京ビッグサイトで開催されたITproEXPO2013（主催：日経BP社）に出展。『柔軟なクラウドサービスがイノベーションを成功させる!』をテーマに「Trustpro」をご紹介いたしました。

9

Trustpro、HANDyTRUSTが クラウドランキングベストサービスに選定

「Trustpro」がもつアプリケーション開発基盤と多数の業務テンプレートが評価され、日経BP社が2013年10月8日に選出した「第7回クラウドランキング」（日経コンピュータ2013年10月17日号掲載）の「汎用業務系SaaS部門」において、『ベストサービス』に初選出されました。

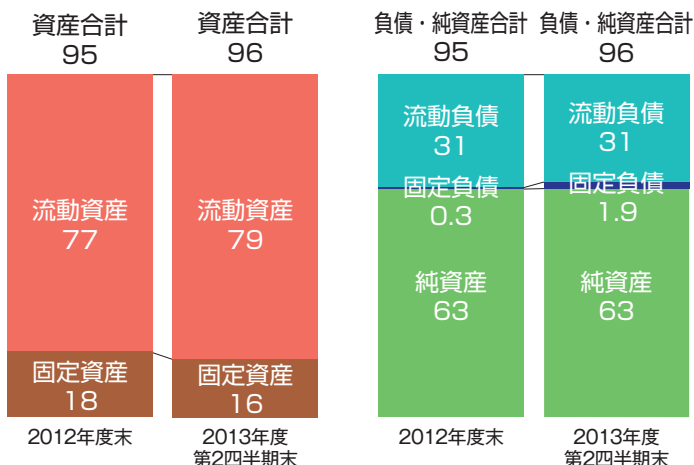
また、カメラ付き携帯電話、スマートフォンで報告書を作成するサービス「HANDyTRUST」も「特定業種業務向けSaaS部門」において初回から7回連続でベストサービスに選出されました。



財務の状況

第2四半期貸借対照表の概要

(単位: 億円)



【資産の部】

前期末と比較し、現金及び預金、差入保証金などの減少がありましたが、本社移転に伴う有形固定資産、たな卸資産及び未収入金などの増加があり、資産の部は120百万円増加し、9,657百万円（前期末比1.3%増）となりました。

【負債の部】

前期末と比較し、未払金、未払費用及び未払法人税などの減少がありましたが、短期借入金、資産除去債務及び長期未払費用などの増加があり、76百万円増加し、3,305百万円（前期末比2.4%増）となりました。

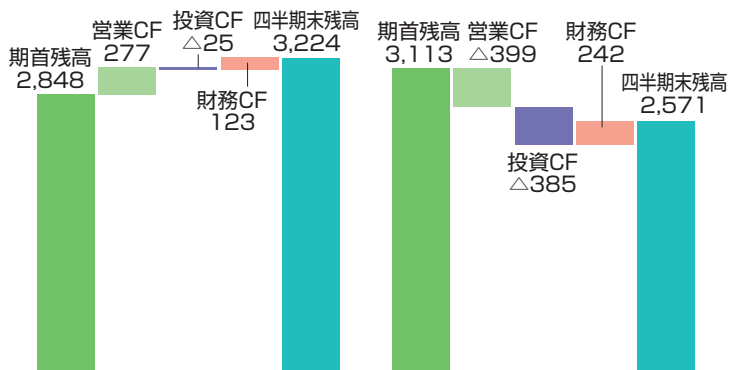
【純資産の部】

前期末と比較し、自己株式をESOP信託口から当社持株会へ売却したことから、43百万円増加し、6,352百万円（前期末比0.7%増）となりました。

11

第2四半期キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位: 百万円)



当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ 542百万円減少し、2,571百万円となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

税引前四半期純利益 250百万円などがありましたが、たな卸資産の増加316百万円、法人税等の支払い271百万円などがあり、△399百万円となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

差入保証金の差入による支出191百万円、有形固定資産の取得による支出 176百万円などがあり、△385百万円となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

配当金の支払い 152百万円などがありましたが、運転資金の調達などによる短期借入金の純増加354百万円、自己株式の売却による収入 45百万円などがあり、242百万円となりました。

会社概要 (2013年10月現在)

会社名	TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社 TDC SOFTWARE ENGINEERING Inc.
創業	1962年（昭和37年）10月16日
上場市場	東京証券取引所 市場第一部（証券コード4687）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●保険、銀行、クレジット等の金融業、官公庁、法人向けの業務システム開発、ネットワークシステム開発、基盤ソフト開発などのSIソリューションサービス ●PaaS型クラウドソリューション「Trustpro」、スマートフォン、携帯電話のカメラを活用したソリューション「HANDyTRUST」、SFDCを携帯電話で利用可能にするソリューション「MoobizSync 2.0」などのクラウドソリューションサービス ●ERP・BI・CRM製品を利用したパッケージソリューションサービス
従業員数	1,220名
資本金	9億7,040万円

事業所 本社	東京都渋谷区代々木三丁目22番7号 新宿文化クイントビル
関西事業所	大阪市中央区伏見町四丁目2番14号 WAKITA藤村御堂筋ビル4F
子会社	TDCネクスト株式会社 東京都品川区東大井二丁目13番8号 ケイヒン東大井ビル10F 天津梯遼息軟件技術有限公司 中国天津新技術産業園区華苑産業区海泰西路18号北1-201

役員	代表取締役会長 橋本 文雄	上席執行役員 倉田 清二
	代表取締役社長 谷上 俊二	執行役員 土橋 弘敏
	取締役常務執行役員 岩田 伸	執行役員 小林 裕嘉
	取締役常務執行役員 小田島吉伸	執行役員 大垣 剛
	取締役執行役員 鈴木 一正	執行役員 瓜生 力
	取締役執行役員 河合 靖雄	執行役員 上條 英樹
	取締役執行役員 北川 和義	常勤監査役 諏訪 勝之
		常勤監査役 野崎 聡
		監査役 秋山 一郎

13

株式情報 (2013年10月現在)

株式の状況

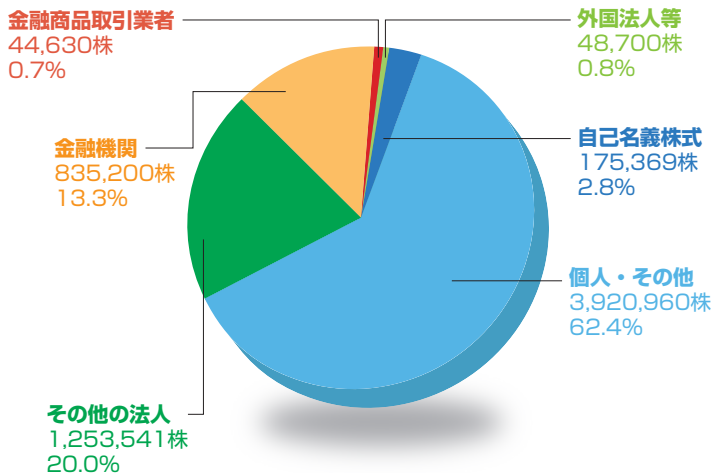
発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	6,278,400株
株主数	3,065名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社野崎事務所	766,000	12.6
TDC社員持株会	490,500	8.0
藤井 吉文	268,400	4.4
野崎 聡	251,300	4.1
株式会社インフォメーション・ディベロプメント	250,000	4.1
株式会社みずほ銀行	192,000	3.1
野崎 哲	142,300	2.3
アジア航測株式会社	100,000	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	92,900	1.5
株式会社クロスキャット	88,000	1.4

(注) 当社は、自己株式175,369株を保有しております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ (株式に関するお手続きについて)

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.tdc.co.jp/>
やむを得ない事由により、
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木三丁目22番7号
新宿文化クイントビル

03-6730-8111 (代表) <http://www.tdc.co.jp/>

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の 口座管理 機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	【手続き書類のご請求方法】 ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選び頂けません。

※製品名などの固有名詞は各社の登録商標です。